

センターだより

令和5年9月15日 No. 78
東濃西部少年センター TEL23-3455 FAX26-8813

所 長 今 井 宏 明
指導主任 松 澤 朗
事 務 石 橋 牧 子

「三地区合同研修会」開催のお知らせ

東濃西部少年センターの活動として、指導員の方々の「声かけ」はとても大切なものとなっています。指導員の方々からは、「どうしたら声かけがうまく出来るのか知りたい。」というお声を聞くことが時々あります。今回の「三地区合同研修会」では、そんな思いに少しでもお応えできるよう企画してみました。

今回の研修会の講師には、「深谷里奈さん（フリーアナウンサー）」をお招きします。

指導員の方々には、8月に月だよりと一緒に配布させて頂いたチラシを見て頂いているかと思えます。とても興味深く楽しいお話を聴くことができると思えます。

深谷さんは、地元出身（多治見市）のアナウンサーとして、東海ラジオでは「生ワイド番組」「ニュース・天気」「インタビュー」など、幅広いジャンルでご活躍されていました。

今は、フリーアナウンサーとして、主に東海ラジオを中心に番組を持ってみえます。また、「大同大学情報デザイン学科非常勤講師」「名古屋学芸大学メディア造形学部外部講師」としてもご活躍です。

プライベートでは、中学1年生の男児の母親であり、そうした経験を基にして学校での教育講演会やPTA活動に取り組んでみえます。



・日 時 令和5年10月14日（土）9時45分～12時00分

（受付 9時15分～ 会場前にて）

・会 場 セラトピア土岐 3F 大会議室

土岐市土岐津町高山4（☎ 0572-54-2120）

・講 話 演 題 「おしゃべりは楽しい ～気軽に一声～」

講 師 「深谷里奈 様（フリーアナウンサー）」

「高校生（瑞浪高校）（多治見西高校）による啓発活動」

6月23日午後4時から、バロー瑞浪中央店前で瑞浪高等学校の家庭科クラブのメンバーがボランティア活動の一環として、「青少年の健全育成」のために、「東濃西部少年センターへの相談及び情報交流」の呼びかけ活動を実施され、少年センターの職員も活動に参加させてもらいました。

これまでの活動場所の多くは、瑞浪駅前でしたが、今回は人通りの絶えないバロー店前ということもあり多くの市民の方々と触れ合うことが出来ました。その際、前回に引き続き、少年センター作成の「モバイルクリーナー」を配布しました。受け取られた方々からは、「これは何ですか?」「どのように使うの?」と尋ねられ、配布していた高校生が、「スマホを拭いたり、眼鏡を拭いたり…」と説明すると「便利ですね。ありがとう。」ととても喜んで頂けました。



多治見西高等学校のMSリーダーズの皆さんによる「啓発活動」が7月11日から14日、9月12日から15日までのそれぞれ4日間に行われました。

朝7時30分に参加する生徒の皆さんが学校に集まり、担当の先生との打ち合わせをした後、各グループに分かれて小泉駅前・学校近くの信号交差点など学校周辺に出向き、青少年育成啓発活動に取り組んでいました。学校から事前に少年センターに案内を頂いていたので、職員も一緒に活動に参加させて頂きました。

「声かけ活動の取り組みについて」

東濃西部少年センターから今年度、ボランティアとして「声かけ活動」をお願いしている指導員は、多治見・瑞浪・土岐市内で185名の方々がみえます。指導員の方々には、熱心に「声かけ活動」を行って頂きとても感謝しています。ありがとうございます。

1年間を通しての活動なので、コロナ禍と共に、夏の暑さや冬の寒さに気を配りながらの取り組みとなっています。

活動の実施の際には、健康面への支障がないよう班長さんを中心に組み立てて頂いていますが、これまで同様、無理のない中でお力を貸していただければと考えています。

これからは気候も寒くなり、日没が早くなるため、暗い夜道での取り組みなど気をつけて活動して頂くようお願い申し上げます。

「多治見市図書館」の紹介（ヤマカまなびパーク内）

「ヤマカまなびパーク」内には、「多治見市図書館」があります。2・3階フロアに設置されていますが、とても工夫された充実した図書館です。

多治見市図書館の運営方針は、「市民と情報を繋ぐ 市民と市民を繋ぐ そして新しい世界へと繋ぐ図書館へ」と紹介されています。

多治見市図書館にお越しの際、車を利用される方には、「ヤマカまなびパーク」の地下駐車場をご利用いただくと便利です、駐車料金は「1時間内無料」となっています。



「学習コーナー」の紹介（ヤマカまなびパーク内）

学校が終わり、下校時間後になると、「ヤマカまなびパーク」内の4階にある「学習コーナー」には、たくさんの高校生が訪れ、熱心に自主学習を行っています。春夏冬の長期休業期間中になると、小中学生も利用しています。また、日中は一般の大人の方々の姿も多く見受けられます。

学習に向かってみえる利用者の方々は、とても真剣で緊張感にあふれ、横を歩く際にも「大きな靴音を立てないように・・・」と気を遣うほどです。

冷暖房が効いており、とても良い環境なので、多くの方に利用してもらいたいです。

「学習コーナー」と同じ4階フロアには「東濃西部少年センター」の部屋があります。機会があれば、ぜひお立ち寄り頂けると嬉しいです。



「帰りたい家庭・通いたい学校・住みたい地域」

☆「楽しい話題」「伝えたい情報」「ちょっとした悩みごと」

（身近な出来事など、連絡・相談ください）

「東濃西部少年センター」

0120-873-246（携帯からもOK）

anshin55@crux.ocn.ne.jp（24時間受付）

相談時刻・メール返信は、10時～17時（日・月休み）

「令和5年度 新任指導員研修会」

令和5年5月13日（土）「ヤマカまなびパーク」において、令和5年度の東濃西部少年センター「新任指導員研修会」を開催しました。

講師には、昨年に引き続き田中聡さん（岐阜県警察本部生活安全課少年部）をお招きし、「街中での声かけ活動のポイント及び配慮事項など」についてお話を頂きました。

子ども達を取り巻く環境は日々変化しており、心配な問題も多くなってきています。

田中さんから講演会の冒頭に「三市がいい街であってほしい。子どもたちの心が満たされるように・・・。」という言葉聞き、その熱意に心打たれました。そして、今後の声かけ活動の際、とても参考になる貴重なお話でした。

研修会終了後には、田中さんのところに行かれ熱心に相談される指導員の方もみえ、他の指導員の方からもお帰りの際、「いい話が聞けました。来てよかったです」と喜んで頂きました。



「東濃西部少年センターへの相談・あれこれ」（4月～9月）

少年センターへ相談及び連絡を頂いている中で、相談者の方のご理解を得ている内容について、一部紹介をさせていただきます。

○この春、長女が中学校に入学しました。昨年の秋、長女が小学6年生の時、「入学準備の件」で相談させて頂いた者です。その際伺ったお話の通りで、中学校の「入学説明会」の中で、丁寧に説明して頂き、安心することが出来ました。

小学校には2人の子供もいます。また、相談させていただきます。

○「中学生の子供がいます。夜、寝る前まで仲良しの友だちとラインをしています。勉強にも集中できていないようなので、ラインを減らすか、出来ればやめてほしいです。」

【返答】

この相談された保護者の方は、「ラインを減らす・・・やめてほしい・・・」という心配してみえる親の思いを我が子に伝えてみえませんでした。また、御主人とも、そうした心配を共有してみえませんでしたので、「まずは家族で話す場を持つこと」が大切であることをお話ししました

○「小学生の子供を持つ父親です。子どもが学校から『少年センターのクリアファイルについて』という、少年センターから発信されているチラシをもらってきました。クリアファイルは、頂けるのでしょうか。」

【返答】

「6月中旬以降に、3市の小学校・中学校・高等学校に通う児童・生徒の皆さんに『クリアファイル』を配布してもらえよう各学校に依頼しました。小学生の児童の家庭へは、『チラシ』を添えました。子どもさんに手渡されますので、もうしばらくお待ちください。」とお答えしました。各学校で、有効活用して頂いていて、有難いです。